



未来パレットだより

vol.28
2020年12月8日発行
北九州ESD協議会

ESDとは、「持続可能な開発のための教育」を意味する英語Education for Sustainable Developmentの頭文字をとったものです。

コロナ禍を
こえて!

みんなで考える!「北九州ESDアクションプラン2021~2025」

北九州 ESD 協議会では、アクションプランを策定し 15 年の歩みを進めてきました。今回は 3 度目のアクションプラン策定です! コロナ禍の中、2 回の ESD カフェ (ワークショップ) とオンライン勉強会、検討会を開催! SDGs 未来都市・北九州にふさわしいプランを皆で創り上げていきましょう!

ESDカフェ

第1回

2020年2月11日(火・祝) 13:00~17:00

九州大学大学院准教授 加留部貴行先生をファシリテータに迎え、協議会会員 34 名が参加し、まなびと ESD ステーションにて第 1 回目のワークショップを実施しました。

現アクションプラン (2015 年~2019 年) の振り返りとして、6 つのテーマ (普及・啓発・発信、地域・ネットワークづくり、学校教育、企業、行政機関、北九州まなびと ESD ステーション・推進体制・事務局) に分かれ、運営委員等の方々によるこれまでの取り組みの説明後、意見を述べ合いました。

この 5 年間で、拠点が八幡東区東田から小倉北区魚町へ移り、学生の参加も盛んになりプロジェクト活動も広がっていきました。「情報発信が十分ではなかった」「もっと若い世代や他のステークホルダーとの積極的な交流が必要」などといった意見もあげられました。



第2回

2020年7月26日(日) 13:30~16:30

前回同様、加留部貴行先生をファシリテータに、協議会会員 36 名 (うち 3 名はオンライン参加) が参加し、AIM 会議室にて第 2 回目のワークショップを実施しました。

新型コロナウイルス感染防止のため、当初の予定より 2 か月遅れての開催でしたが、「コロナの状況下であなたが学んだことは何か」や「with コロナ」の中で ESD はどうあるべきか、「私が考えるこれからのアクション」についてグループワークを行いました。「人と人のつながりの大切さを再認識」「新たなパートナーシップを築きたい」などの感想や、「啓発動画の作成」や「ステークホルダー同士の交流を増やすワークショップ実施」など具体的な提案もありました。久しぶりの対面ということもあってか、交流できる喜びを感じることであった時間となりました。



オンライン勉強会

2020年6月25日(木) 16:00~17:00

講師に立教大学教授の阿部治先生を迎え、昨年国連で採択された「ESD for 2030」、「ESD と SDGs について」をテーマに勉強会を実施しました。配信時及びその後の動画視聴を含め 115 人の方にご視聴いただきました。

「ESD は SDGs 推進のエンジン」、「ESD と SDGs の関係」について国際的な考え方など、分かりやすく説明いただき、次期アクションプラン策定において示唆に富んだものになりました。



第1回検討会

2020年10月6日(火) 17:00~19:00

次期アクションプラン策定にあたって外部委員を交えた 16 人の検討委員が対面とオンラインで、「北九州のこれまでの歴史をふまえた取り組み」「ESD と SDGs の関係」などについて意見を交わしました。



~ご協賛ありがとうございました~

株式会社 安川電機 様、株式会社 ウェルクリエイト 様

この度、北九州まなびと ESD ステーションの運営等に対し、上記 2 社様より、協賛金をいただきました。当協議会が進める、地域の未来を担う「人づくり」にご賛同いただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

SDGs 図書館大作戦



北九州 ESD 協議会の SDGs 図書館に北九州市立大学 1 年生の学生さんたちが遊びに来ました。

本協議会のスランディングプロジェクトリーダーである原賀いずみさんが 1 冊の絵本にはさまざまな思いや願いが込められており、その思いや願いを SDGs のアイコンで伝え合うことができたなら素敵だと考えたことがきっかけに「SDGs 図書館大作戦」活動がスタートしました。

本の世界は Think Globally、Act Locally!

本は Globally ~知らない世界について知り学ぶことができる。Locally ~自分の住んでいる町の歴史を未来へ繋ぎ残すことができる。SDGs のアイコンは地球への・未来への願い!

本の中に、どんな願いが込められているかを仲間と語り合うことで、あなたにとっての SDGs、私にとっての SDGs、地球にとっての SDGs が見えてくるのではないのでしょうか。



金替 朱音

「82 年生まれ、キム・ジョン」
チョ・ナムジュ 筑摩書房

私は、「82 年生まれキム・ジョン」を読みました。そもそもこれまで社会問題に関する内容の本を読む機会があまりありませんでした。この本を読んでジェンダー平等というものについて、自分のこれまでの振り返りながら考えることができたので今後につながり、とても良かったと思います。



濱田 侑駄

「わたしのせいじゃない」
レイフ・クリスチャンソン 岩崎書店

この本を通して SDGs について学びきっかけになりました。私のように多くの人がこれから SDGs について自分ができることを考えて欲しいと思います。



原 優依

「世界から貧しさをなくす 30 の方法」
田中優・榎田秀樹・マエキタミヤコ 合同出版

自分は本を読むのが好きで色々な本を読んでいた。しかし、読むだけで納得していたところがあり文章にしておすすめる機会がなかったので、今回ブックトークを書いて、説明する難しさや自分の感性を伝える面白さが分かり、良い経験になりました。



末松 愛夢

「わたしはマララ」
マララ・ユスフザイ 学研プラス

この本を通して、ジェンダーに関する問題を改めて考えるきっかけになりました。多くの方がこの本を読んでジェンダー問題を考えるきっかけになって欲しいと思います!





北九州 SD・SDGs 物語 ～公害克服の歴史をたどって

② 「青空がほしい」が生まれた 三六婦人会と林えいだい物語 原賀いずみ

ESD 協議会では、前号の「毛利昭子」物語の掲載がきっかけで、「子どもたちに青い空と青い海を」と願った北九州の女性たちの公害克服活動の顕彰が始まりました。7月に牧山市民センター、8月に三六市民センターでヒアリング、9月25日には、現在福岡県男女共同参画センター「あすばる」のセンター長、神崎智子さんのオンライン講演会を開催。「青空がほしい～北九州市の公害克服の歴史に学ぶ」について、約70名の協議会内外の方々に参加し戸畑区婦人会の公害克服の歴史について学びました。

今回は中原地区に隣接する三六婦人会と社会教育主事林えいだいさんが登場し、戸畑区婦人会協議会全体として「青い空がほしい」運動へ発展していく物語です！持続可能な地域づくりへと行動していった戸畑の社会教育＝ESD・SDGs 力について学んでいきましょう！

戸畑の公害克服運動は①1950年代に中原婦人会が行った煤塵問題に対する活動②1960年代に三六婦人会が行った煤塵問題に対する活動、③その後戸畑区婦人会協議会全体で行った「青い空がほしい」活動という約20年の経緯をたどる事ができます。

戸畑市の社会教育主事でもあった森義明さんは当時の様子を「当時の戸畑市は学校教育にも社会教育にも熱心で、公民館を運営する個性豊かな社会教育主事を県内から次々に採用されました。その中の一人が三六公民館の婦人学級や青い空がほしい運動をけん引した林えいだいさんです。」と話されます。林えいだいさんは1933年田川郡香春町生まれ、香春町役場の教育委員会を経て1962年旧戸畑市の社会教育主事に採用され、三六公民館の担当となります。

1950年の朝鮮戦争以降、八幡製鉄所の主力は戸畑の広大な埋立地に1959年に建設された最新鋭の工場に移っていました。そのため三六地区の降灰は特にひどく、石油を燃料として排出されるタールを含んだ煤は「三六喘息」と呼ばれ地域住民の健康をむしばんでいました。空気の綺麗な香春町から三六地区に移り住んだ林えいだいさんは、二人の娘たちに喘息の症状が出たことに驚き、1963年婦人学級で公害問題を取り上げることを提案しますが、「七色の煙」は町の誇り、なかなか本音は言えない状況でした。しかし、えいだいさんの粘り強い働きかけに、家族の健康を守るために集った婦人学級では、「①事実を知る②科学的にもの考える習慣をつける③生活の範囲で問題をつかむ」ことを目標に公害の勉強から始めます。まずは新聞の切り抜き、九州工業大学の伊木貞雄教授との勉強会、中原婦人会の活動に習ってワイシャツの汚れの調査、降塵の分析、住民のアンケート調査、煤塵の性状と風向きと煙の出元の関係などを科学的に割り出していきます。

そして北九州市が誕生した1963年、教育委員会社会教育課と戸畑区婦人会の共催で行われた第11回新生活展に三六婦人会として「明るい住みよい町にするための煤塵調査」～青い空 緑の大地を私たちの手に～と題し調査研究を発表します。発表資料には「今までは調査活動が主でしたが、今後は会社に対する要求と同時に公衆衛生



旧三六公民館



県営小芝アパート

的な面まで研究を深めることにしています。これが、ただ単に三六地区だけの問題でなく、戸畑或いは北九州地区、ひいては工業都市の問題としてとりあげることができないでしょうか。」と記されています。

この研究は次年度も継続され、三六地区とえいだいさんの故郷香春町の児童の欠席率を比較調査し、煙と欠席率の関係を立証します。また、北九州市公害防止対策審議会委員に戸畑区婦人会協議会会長の今村千代子さんが就任し、北九州市長期総合計画に婦人会の意見が取り入れられていくきっかけとなります。さらに、戸畑区婦人会協議会全体の共同研究となり、『青い空がほしい』の8ミリ映画も制作され社会を大きく動かしていくのです。

中原婦人会から始まった戸畑の公害克服運動は、三六公民館の婦人学級という学びの場を得て、戸畑区全体の学びに飛躍しました。山口大学の野瀬義勝教授の指導を受け科学的なエビデンスを積み重ねました。1971年北九州市は公害防止条例を改正。一方婦人会を育てた林えいだいさんは、1970年37歳で社会教育主事の仕事を辞し、社会問題に切り込むフリーライターの道を進みます。

当時、母親たちが三六婦人会で活動していた三六まちづくり協議会会長の井手國昭さんは、「三六婦人会もなくなり、公民館も建て代わり、時代を物語るものは、もうすぐ建て替わる県営小芝アパートと市民センターの桜の木でしょうか。公害がひどかった昭和30～40年代、アパートの北には工場の煙突が建ち並び、コールタールを含んだ煤塵で空は真っ黒。屋上には煤塵の測定器があり婦人会の母親たちが毎日煤塵測定していた。わが家の2階に母親たちが集り、研究の成果をまとめていた。皆えいだいさんが大好きで、元気なお母ちゃんばかりだった。」と、懐かしそうに当時の様子を語ってくれました。20年に及ぶ暮らしを守るための女性たちの学びと行動は、北九州市のまちづくりの原点です。なぜ北九州 ESD 協議会が生まれたのか？この会に流れる北九州の女性たちの系譜を振り返り、学び直し伝え残していくことが私たちに課せられた「持続可能なまちづくり」ではないでしょうか。

青空がほしい！戸畑 三六婦人会と 林えいだい物語

The comic strip is divided into 16 panels, each with a number in the bottom right corner. The panels illustrate the following events:

- Panel 1 (1950): A woman (Ryuzaki) is talking to a child about the 'Blue Sky We Want' movement.
- Panel 2: Ryuzaki is talking to a woman about the 'Blue Sky We Want' movement.
- Panel 3: Ryuzaki is talking to a woman about the 'Blue Sky We Want' movement.
- Panel 4: Ryuzaki is talking to a woman about the 'Blue Sky We Want' movement.
- Panel 5: Ryuzaki is talking to a woman about the 'Blue Sky We Want' movement.
- Panel 6: Ryuzaki is talking to a woman about the 'Blue Sky We Want' movement.
- Panel 7: Ryuzaki is talking to a woman about the 'Blue Sky We Want' movement.
- Panel 8: Ryuzaki is talking to a woman about the 'Blue Sky We Want' movement.
- Panel 9: Ryuzaki is talking to a woman about the 'Blue Sky We Want' movement.
- Panel 10: Ryuzaki is talking to a woman about the 'Blue Sky We Want' movement.
- Panel 11: Ryuzaki is talking to a woman about the 'Blue Sky We Want' movement.
- Panel 12: Ryuzaki is talking to a woman about the 'Blue Sky We Want' movement.
- Panel 13: Ryuzaki is talking to a woman about the 'Blue Sky We Want' movement.
- Panel 14: Ryuzaki is talking to a woman about the 'Blue Sky We Want' movement.
- Panel 15: Ryuzaki is talking to a woman about the 'Blue Sky We Want' movement.
- Panel 16: Ryuzaki is talking to a woman about the 'Blue Sky We Want' movement.

三六婦人会の活動には、SDGsのどんな目標が込められていると思いますか？

学 び の ポ イ ン ト

今回は公害のために閉校となった城山小学校についてお伝えします。

参考文献

- 「公害のあゆみ」戸畑区婦人会協議会
- 「北九州の公害克服の歴史を動かした戸畑婦人会の活動」神崎智子
- 「女性市民運動による公害克服の歴史」森本美鈴
- 「世論から生まれしもの～ストックホルムからの土産」毛利昭子
- 「北九州市三六市民センター開館60周年誌 さんろく」
- 三六市民センター開館60周年記念事業実行委員会
- 「第11回新生活展資料」北九州市教育委員会戸畑支所社会教育課・戸畑区婦人会協議会
- 「第12回新生活展資料」北九州市教育委員会戸畑支所社会教育課・戸畑区婦人会協議会
- 「これが公害だ」林えいだい作 新評論
- 「第13回1965新生活展共同研究 青空がほしい」北九州市教育委員会戸畑支所社会教育課・戸畑区婦人会協議会

